



庭野平和財団 助成事業完了報告書

助成対象事業：次世代ジャーナリズムを支援する第2回「ジャーナリズムXアワード」の
企画実施と運営～2年目のステップアップ～

助成対象者(代表)：ジャーナリズム支援市民基金(星川 淳) 印

助成金：1,588,000円

1. 助成事業の具体的な内容

- ・ ジャーナリズム支援市民基金の幹事会(全5名)で戦略会合を全4回開催し、評価基準や選考方法の見直しを図ると共に、第2回ジャーナリズムXアワード(以下、JXA)の公募準備を整え、受賞発表イベントの企画案、今後の運営方針や資金調達について協議した。
 - 戦略会合#1(2020年10月3日).....応募要項、評価&選考方法の見直しについて
 - 戦略会合#2(2021年1月30日).....広報スケジュール、応募促進イベントについて
 - 戦略会合#3(2021年10月9日).....受賞者発表イベントの企画案、運営資金について
 - 戦略会合#4(2022年1月30日).....今後の運営方法、資金調達(ファンドレイジング)について
- ・ 昨年、本助成の支援を受けて開設したJXAの[ウェブサイト](#)にて、2021年2月9日に第2回JXAを告知、公募をスタートした。広報手段としては、ウェブサイトの他、[Facebook](#)、[Twitter](#)、プレスリリースの発出、第1回JXA応募者を含む個人や団体へダイレクトメールを送付した。
- ・ 2021年3月20日には、第2回JXAの応募促進を目的として「ジャーナリズムX2021～コロナの時代にジャーナリズムの壁を突き破る～」@オンラインを開催した。当初はオフラインとのハイブリッド形式を想定していたが、コロナの感染防止に十分配慮するためオンライン参加限定とした。申込者19人、実際の参加15人。
 - ◇ 日時:2021年3月20日(土)14:00～15:15
 - ◇ 形式:Zoomによるオンライン
 - ◇ プログラム:
 - 14:00 開会の挨拶(ジャーナリズム支援市民基金 代表幹事・星川淳)
 - 14:10 第2回「ジャーナリズムXアワード」について
 - 14:15 日本のジャーナリズム最前線の活動事例紹介(第1回JXA受賞者より)
 - ◆「ニッポン複雑紀行」(認定NPO法人難民支援協会運営) 編集長・望月優大さん(Y賞)
 -  1985年生まれ。ウェブマガジン「ニッポン複雑紀行」編集長(認定NPO法人難民支援協会運営)。著書に『ふたつの日本「移民国家」の建前と現実』(講談社現代新書)。執筆のほか、非営利団体などへのアドバイザー、メディア出演なども行う。
 - ◆「IDEAS FOR GOOD」(ハーチ株式会社) 編集部・富山恵梨香さん(Z賞)
 -  2018年ハーチ株式会社入社。IDEAS FOR GOODでは編集者として国内・海外の社会的企業への取材やPodcastを担当する傍ら、Experience for Good 責任者としてベトナムツアーなどを企画。1993年生まれ。大学卒業後には日系不動産会社のベトナム、ハノイ支店に約2年間勤務。世界20か国以上への渡航経験あり。
 - ◇ 主催者側を交えて対話(モデレーター:星川淳)
 - 14:50 ゲストコメント(外部選考委員:小野りりあんさん(モデル/環境活動家))
 - 14:55 質疑応答
 - 15:10 閉会のコメント(運営幹事:奥田裕之)

2021年4月18日に募集を締切ったところ、全31件(うち、自薦28件、他薦3件)の応募が集まった。一次選考(6/7@オンライン)は運営幹事5名で実施し、計24件を二次選考の対象として選出した。続く二次選考(7/29@オンライン)は、運営幹事に外部選考委員3名(田口一成(株式会社ボーダレス・ジャパン代表取締役社長)、林怡蓀(リン・イーシェン)(立教大学社会学部教授)、小野りりあん(モデル/環境活動家))を加えたメンバーで実施し、最終的な授賞対象として下記5件(X賞1件、Y賞1件、Z賞3件)を選定した。

◆ X賞(賞金100万円)

- [映画『はりぼて』](#)(チューリップテレビ及び五百旗頭幸男・砂沢智史)

◆ Y賞(賞金30万円)

- [『白い土地 ルポ・福島「帰還困難区域」とその周辺』集英社クリエイティブ](#)(三浦英之)

◆ Z賞(賞金各5万円)

- [「サクラエビ異変」](#)(静岡新聞「サクラエビ異変」取材班)
- [たかまつななさんによるメディアミックス発信4編](#)(笑下村塾 たかまつなな)

※ 上記のリンクは、受賞対象の一部「9月入学の是非を問う! 藤原和博×中室牧子×たかまつなな」

- [U30 世代のための政治と社会の教科書メディア NO YOUTH NO JAPAN](#)(NO YOUTH NO JAPAN)



上段左: 五百旗頭幸男・砂沢智史

上段右: 三浦英之



下段左: 静岡新聞「サクラエビ異変」取材班

下段中: 笑下村塾たかまつなな

下段右: NO YOUTH NO JAPAN



選考結果は JXA [ウェブサイト](#) で公開するとともに、[Facebook](#) と [Twitter](#) で発信、プレスリリースも発出した。なお、二次選考の対象として選出した24件中15件もノミネート案件としてウェブサイト公開した。

受賞案件の決定後、JXA およびジャーナリズム支援基金の社会的認知促進と、市民と非営利メディアや独立系ジャーナリストとの協働の気運を高めることを目的に、11月21日に第2回 JXA の受賞者を招いたオンラインイベント「いま、日本のジャーナリズムを前へ進めるには ~第2回ジャーナリズム X アワード受賞者と探る~」を開催した。参加者数は47名(申込者数は76名)。後日、レポートを JXA [ウェブサイト](#) にて公開し、Facebook と Twitter で発信した。

2. 設定目標の達成状況

目標・成果を達成できたか	
<ul style="list-style-type: none"> ジャーナリズム支援市民基金の幹事会で戦略会合を開催し、第2回 JXA を実施し、最終的な授賞案件として5件(X賞1件、Y賞1件、Z賞3件)を選定した。 第2回 JXA の授賞式および記念シンポジウムは、COVID-19 の感染防止に配慮してオンラインで開催(当初の計画ではハイブリッド開催だった)。参加者は47名にとどまったが、受賞者の活動を題材にして新しいジャーナリズムのあり方について意見交換した内容をウェブサイトで公開し、SNS等で周知した。 JXA の賞金原資の確保や持続可能な組織運営を目指すため、組織運営や資金調達の方法について運営幹事会で協議した。以降、積極的なファンドレイジングを模索中。 	
目標達成度をパーセントで自己評価すると:	90%(資金調達の仕方について引き続き議論中のため)

3. 実施状況

2020年	
10月	10/3 戦略会合#1@オンラインの開催 <応募要項、評価&選考方法の見直しについて>
2021年	
1月	1/30 戦略会合#2@オンラインの開催 <広報スケジュール、応募促進イベントについて>
2月	2/9 第2回 JXA の公募スタート
3月	3/20 応募促進イベント「ジャーナリズム X2021 ～コロナの時代にジャーナリズムの壁を突き破る～」@オンラインを開催
4月	4/12 応募促進イベント「ジャーナリズム X2021 ～コロナの時代にジャーナリズムの壁を突き破る～」のレポートをウェブサイトで公開 4/18 公募締切 応募案件リストの作成、選考審議用にエントリーシートの作成(応募情報整理、応募要件チェック、検討ポイント抽出)、参考資料(書籍、冊子等)の追加購入
5月	5/2 一次選考委員(運営幹事)へ資料発送 一次選考の評価提出の締切、集計
6月	6/7 一次選考会の開催@オンライン、二次選考対象(ノミネート)案件(全24件)の選出 一次選考会の議事録まとめ、二次選考委員(運営幹事+外部委員3名)に資料発送
7月	二次選考の評価提出の締切、集計 7/29 二次選考会の開催@オンライン、受賞候補案件(全5件)の選出
8月	二次選考会の議事録まとめ 8/27 第1回 JXA 受賞案件の決定、公開(ウェブサイト、Facebook、Twitter、プレスリリース) 受賞者へ記念品の送付、受賞者へ賞金の振込完了
9月	受賞者発表イベントの企画案について運営幹事 ML で議論
10月	10/9 戦略会合#3の開催 <受賞者発表イベントの企画案、運営資金について>
11月	11/21 受賞者発表イベント「いま、日本のジャーナリズムを前へ進めるには ～第2回ジャーナリズム X アワード受賞者と探る～」@オンラインを開催
12月	12/21 受賞者発表イベント「いま、日本のジャーナリズムを前へ進めるには ～第2回ジャーナリズム X アワード受賞者と探る～」のレポートをウェブサイトで公開
2022年	
1月	1/30 戦略会合#4@オンラインの開催 <今後の運営方法、資金調達(ファンドレイジング)について>

4. 成果物／メディア・カバレッジ

【公募告知】

1. JXA サイト発信: 21/2/12 市民が選び、応援する！ 第2回ジャーナリズム X(エクス)アワード公募開始！
(※切: 4月18日) <https://jXaward.com/news/499/>
2. 受賞者からの発信:
21/2/17 昨年度 IDEAS FOR GOOD が「ジャーナリズム Z 賞」を受賞させていただいた【ジャーナリズム X アワード】が今年も開催されます！ <https://www.facebook.com/IDEAS4GOOD/posts/5189039437857023>
21/2/25 ワセクロが初回大賞をいただいたジャーナリズム X アワードが、第2回の公募を開始したそうです。
創造的なジャーナリズムを市民が応援する、という画期的な取り組みです。
https://www.facebook.com/permalink.php?story_fbid=1071038083379580&id=156087521541312

【キックオフイベント】

3. JXA サイト発信: 21/4/12 【イベントレポート】ジャーナリズム X(エクス)2021 ～コロナの時代にジャーナリズムの壁を突き破る～(「ニッポン複雑紀行」編集長・望月優大さん、「IDEAS FOR GOOD」編集部・富山恵梨香さん) <https://jXaward.com/news/629/>

【広告】 ※公募告知のためマガジン9に出稿

4. 記事広告: 第2回「ジャーナリズム X(エクス)アワード」公募開始記念対談: 星川淳さん×鈴木耕さん「自由で公正な社会に向けて、健全なジャーナリズムを育てたい」
21/3/10 マガジン9 <https://maga9.jp/210310-1/>
21/3/10 blogos <https://blogos.com/article/522112/>



5. マガジン9のTOPページにバナー広告を掲載
(掲載期間: 3月初旬～応募締め切り日)



【受賞について】

6. JXA サイト発信: 2021/8/27 第2回ジャーナリズム Xアワード(JXA)の受賞案件を選定(計5件)
<https://jXaward.com/winner/665/>
7. メディア・カバレッジ: 2021/9/7 PRTIMES
市民が選び応援! 第2回ジャーナリズム X(エクス)アワード決定!
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000002.000085979.html>
8. メディア・カバレッジ: 2021/9/7 Mapion ニュース (同上)
<https://www.mapion.co.jp/news/release/000000002.000085979/>
9. メディア・カバレッジ: 2021/9/7 eXite ニュース (同上)
https://www.eXcite.co.jp/news/article/Prtimes_2021-09-07-85979-2

【受賞者コメント】

10. 2021/8/27 五百旗頭幸男(X 賞)
映画『はりぼて』が第2回ジャーナリズム Xアワードの大賞に選ばれました。チューリップテレビに私と砂沢監督を加えた連名受賞としていただいた選考委員の方々の配慮が心から嬉しいです。
<https://twitter.com/yukioikibe/status/1431082775969337344>

11. 2021/8/27 三浦英之(Y 賞)

小著『白い土地』が、ジャーナリズム支援市民基金が主催する「ジャーナリズム X 賞」(Y 賞)に選ばれました。これからも組織の壁にとらわれず、権力に阿らず、現場に通って自らの目と耳で取材した物語を伝えていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

https://twitter.com/miura_hideyuki/status/1431075969947758595

12. 2021/11/29 たかまつなな(Z 賞)

ジャーナリズム X アワード受賞しました。(note に受賞コメントを掲載)

<https://note.com/takamatsunana/n/n0c416ad80d08>

ジャーナリズム X アワード受賞しました！新世代のジャーナリスト！ありがとうございます！（ツイッター上部に固定）

<https://twitter.com/nanatakamatsu>

【受賞者発表イベント】

1. JXA サイト発信：21/12/21 【レポート】11月21日(日)オンラインイベント「いま、日本のジャーナリズムを前へ進めるには」～第2回ジャーナリズム X アワード受賞者と探る～

<https://jxaward.com/news/833/>

2. 三浦英之(Y 賞)ツイート：21/11/2 小著「白い土地」が受賞した「ジャーナリズム X アワード」の受賞オンラインイベントで、映画「はりぼて」の監督の五百旗頭幸男さんと対談させていただき予定です。光栄です。難しいテーマですが、今のメディアが直面する状況を2人でお伝えしたいと考えています。

https://twitter.com/miura_hideyuki/status/1455482064677920772

三浦英之(Y 賞)：21/12/22 ジャーナリズム支援市民基金主催の「ジャーナリズム X 賞」授賞式の記念対談が配信されました。映画監督・五百旗頭幸男さんと、地方で記者を続ける意義などについて深く議論しています。動画はしゃべりが稚拙なので(この日は仙台空港からの中継)、文章でお読み頂ければ。

https://twitter.com/miura_hideyuki/status/1473589873328402440

5. 実施による学び

- ・ ジャーナリズムを扱う以上、外へのアピールは重要である。自身も気候正義運動を中心に活動を続け、ファッションモデルという職業柄、若年層に広く支持される小野りりあん氏を新しい外部選考委員として迎え入れた。彼女には、今後もインフルエンサー的な協力も期待したい。また引き続き、募集時期の広報への協力者を探索する。
- ・ 過去2回のJXAを通じ、日本のジャーナリズムが向かい合う双極性(必ずしも対立軸ではない)として、組織 vs 個人・小グループ、都市(中央) vs 地方、多数 vs 少数、同一性 vs 複雑性・多様性といった対比が浮かび上がった。そこで第3回JXAの応募促進イベントや受賞者発表イベントなどでは、それらを紡ぎ合わせるような仕事をされている3人をゲストに、最近ではトランスフォーメーション(変容)の略号にもなった次の「X」を探りたい。
- ・ 基金設立3年目は、運営幹事やアドバイザーと「日本のジャーナリズムの進化」を模索するとともに、当基金の財政面などの組織基盤強化についてさらに検討を進める。また、第1回および第2回JXAの受賞者や一次選考通過者(非営利メディアやフリージャーナリストなど)と協働するファンドレイジングを試運転させる。

【2022年度ファンドレイジング計画】

[クラウドファンディング・プラットフォーム MOTION GALLERY](#)と連携して、第1回と第2回JXAの受賞者や一次選考通過者を対象にした「継続支援型クラウドファンディング」(目標達成額を設定せず、毎月、寄付者のクレジットカードから一定額が支援される形式)をスタートさせ、その支援総額の2%が基金の運営やJXAの賞金原資に活用される仕組みを構築する。

6. その他の写真等

◇ 3/20 「ジャーナリズム X2021 ～コロナの時代にジャーナリズムの壁を突き破る～」



◇ 11/21 「いま、日本のジャーナリズムを前へ進めるには ～第2回ジャーナリズム Xアワード受賞者と探る～」



- 第2回 JXA 受賞者: 左から順に、
- 坂本昌信さん(静岡新聞清水支局長)
 - 遠藤竜哉さん(静岡新聞文化生活部記者)
 - 五百旗頭幸男さん(ドキュメンタリー映画監督、石川テレビ記者)
 - 三浦英之さん(新聞記者、ルポライター)
 - たかまつななさん(時事 YouTuber、株式会社笑下村塾代表取締役)
 - 一般社団法人 NO YOUTH NO JAPAN

● 外部選考委員よりお祝いコメント

